

令和8年2月13日
在シンガポール日本国大使館

中国国籍者との間に出生した子に係る出生届の留意事項について

お子様の父又は母が、中国国外（例：シンガポール）に住む中国国籍者であり、かつ、お子様が中国国外で出生した場合は、中国戸籍の登録の有無にかかわらず、当館への出生届の提出に先立ち、在シンガポール中国大使館に対して、「中国国籍者の父又は母の中国国外での居住状況、一方の親の外国国籍の状況、子の出生地等を踏まえ、子は、出生に伴い中国国籍が付与されるか。」を確認しておいてください。

当館が把握する範囲では、日本国籍者と、シンガポールの永住権（PR）を有する中国国籍者との間に、シンガポールで出生した子に関しては、出生により中国国籍を付与されないことが一般的であり、上記の確認結果に応じて、当館に提出する出生届の「日本国籍の留保」^{注1}及び「その他」^{注2}の記入要否が決まります。

そのため、当館に出生届を提出する際には、ICAが発行する出生証明書等の必要書類に加え、中国国籍者の父又は母のシンガポールでの在留資格を示す書類（例：PRカード。写しも可）を合わせて持参してください。

注1 「日本国籍の留保」の欄には、記入（サイン）せずにblankのままで、当館に出生届を持参してください。必要に応じて、当館窓口で記入いただきます。

注2 「その他」の欄の記入例：在シンガポール中国大使館に対し、子は、出生に伴い中国国籍を付与されないことについて確認済み。